

平成 30 年度 事業報告書

公益財団法人日本ソフトボール協会

公益財団法人日本ソフトボール協会はわが国におけるソフトボール界を統轄し、代表する団体として、定款に掲げる目的を達成するため、以下の諸事業を実施した。

公益目的事業

<ソフトボールの普及奨励及び競技力向上>

1) 国内普及事業

- ・小学生低学年および幼児における未経験者への普及振興事業（補助金交付事業）

小学生低学年および幼児におけるソフトボール未経験者に合った「導入プログラム」を作成し、この「導入プログラム」を活用して事業を実施した都道府県協会に対し補助金を交付する補助事業として実施した。

- ・幼児期からのベースボール型体験プログラム普及振興事業（参加型普及事業）

教員やオリンピック、そして日本リーグ経験選手等で構成するプロジェクト（キッズ普及振興プロジェクト：ASOBALL プロジェクト）を設置し、また幼児向けのボール（ASOBALL）をボールメーカーとともに開発し、そのボールを使用し実施可能な都道府県・地域の保育園・幼稚園や保育所における幼児や親子を対象に「参加型プログラム（山梨モデル）」を導入し、計 8 回実施した。

- ・学校体育ベースボール型授業研修会における普及振興事業（教員向け研修事業）

文部科学省・学習指導要領の改訂に伴い、平成 24 年度から球技・ベースボール型＝ソフトボールが中学校 1・2 年生の必須種目となったことを受け、教員で構成するプロジェクト（学校体育推進委員会）を設置して、指導用ガイドブック・動画 DVD の配布・ホームページへの掲載を行うとともに体育授業の継続的な実施が叶うよう、NPB と連携し全国 18 会場で小・中学校の教員を対象にしたベースボール型授業の研究会を実施した。

- ・日本リーグ加盟チームおよび日本トップリーグ連携機構による普及振興事業

日本リーグ加盟チームは、日本リーグ開催時に地元でソフトボールを行っている子供達を対象にソフトボールクリニックを実施し、また、日本トップリーグ連携機構ではソフトボールクリニックやボールゲームフェスタなどを実施して、ソフトボール以外のボールゲームの体験を行い普及活動を行った。

- ・国際大会の開催

国内において、国際大会を 3 大会（世界女子選手権大会、日米対抗、JAPAN CUP）開催し集客を図るとともに各種メディアへの露出をはかった。

2) 国際交流事業

日韓ジュニアスポーツ交流事業を平成 30 年 9 月 6 日～11 日に GEM2 (U16) 女子日本代表チームを韓国・釜山市に派遣し、また、平成 30 年 11 月 18 日～21 日に韓国ジュニア女子代表チームを静岡県伊豆市に受け入れる相互派遣方式で実施した。この日韓ジュニアスポーツ交流事業は、アジア近隣諸国とのスポーツ交流の促進と相互理解を深めることを目的にスタートした事業で、韓国側からの強い要望で実施され今回で 18 回目となる。両国の友好親善とソフトボールの普及・振興、競技力向上を目指し積極的な交流を行った。

また、平成 30 年 8 月 8 日～10 日、宮崎県宮崎市に台湾の女子ジュニアチームを招待し、GEM2 (U16) 女子日本代表チームと試合を行い交流を図った。さらに GEM1 (U14) 日本代表選手 17 名を平成 31 年 1 月 13 日～19 日、台湾・台中市に派遣し、友好親善とソフトボールの普及・振興、競技力向上を目指し積極的な交流を行った。

また、アジア地区との交流ならびに競技力の向上を目的にしたプロジェクトを立ち上げ、2019 年度以降の事業展開の検討を行った。

さらに、フランスへ計 3 回、フランス国内でのソフトボール競技の普及ならびに競技力の向上を図るため指導者を派遣し、ガンビアへも JOC と連携し指導者を派遣した。

3) 広報事業

ホームページまたはフェイスブック、ツイッター等 SNS を活用し、大会やソフトボールに関する情報あるいは試合結果を動画も取り入れながら随時更新し情報発信を行った。

日本女子 1 部リーグ全試合をネット配信、一部全国大会についてもネット配信を行った。また、運動記者クラブと連携を取りながら大会等の広報を行った。

4) 強化事業

我が国におけるソフトボール競技の更なる競技力向上を図り、国際舞台で活躍できる選手の育成、強化を図るため、国内合宿 16 回 (女子日本代表 9 回、GEM3:1 回、GEM2:3 回、GEM1:1 回、男子日本代表 1 回、男子 U19 日本代表 1 回)、海外合宿 4 回 (女子日本代表 2 回、男子日本代表 2 回)、国際大会派遣 13 回 (女子日本代表 5 回、女子大学選抜 1 回、GEM4:1 回、GEM3:1 回、GEM2:1 回、男子日本代表 3 回、男子 U19:1 回) を行った。また、日本リーグ、全日本大会へ視察員を派遣し情報収集活動を行った。

5) 技術研究事業

競技力向上へ寄与するため、NTT と連携し脳科学的な実験、データ収集を行い、また、ストライクゾーンに対応するための研修用の映像を制作し、審判員の研修に活用した。

<ソフトボールに関する競技会の開催>

- 1) 平成 30 年度全日本大会 (32 大会)・日本リーグ (女子 1 部 32 会場、女子 2 部 8 会場、入替戦 1 会場、男子 8 会場 (東日本 3、西日本 4、決勝トナメント 1)) を開催した。

- 2) 平成 30 年 6 月 20 日～23 日、東京ドーム並びに宮城県仙台市、福島県福島市を会場に「日米対抗ソフトボール（女子）」を、8 月 2 日～12 日、千葉県千葉市、市原市、成田市、習志野市を会場に「第 16 回 WBSC 世界女子選手権大会」を、11 月 2 日～4 日、群馬県高崎市において「JAPAN CUP 国際女子ソフトボール大会」を開催した。

<ソフトボールに関する代表選手の選考ならびに派遣>

- 1) GEM3（女子）日本代表選手選考会の実施
平成 30 年 9 月 5 日～7 日、静岡県伊豆市にて 63 名の参加を得て実施した。
- 2) GEM2（女子）日本代表選手選考会の実施
平成 30 年 4 月 13 日～15 日、静岡県伊豆市にて 53 名の参加を得て実施した。
- 3) GEM1（女子）日本代表選手選考会の実施
平成 30 年 11 月 16 日～18 日、静岡県伊豆市にて 49 名の参加を得て実施した。
- 4) 男子日本代表選手選考会の実施
平成 30 年 11 月 16 日～18 日、高知県高知市にて 65 名の参加を得て実施した。
- 5) USA インターナショナルカップ大会への派遣
平成 30 年 7 月 9 日～15 日までアメリカ・オクラホマシティに女子日本代表チーム（選手 17 名、スタッフ 7 名）を派遣。11 カ国 13 チームの参加を得て開催された USA インターナショナルカップ大会に参加し女子日本代表チームは準優勝した。
- 6) 第 16 回 WBSC 世界女子選手権大会への派遣
平成 30 年 8 月 2 日～12 日まで千葉県千葉市・市原市・成田市・習志野市に女子日本代表チーム（選手 17 名、スタッフ 11 名）を派遣。16 カ国・地域の参加を得て開催された第 16 回 WBSC 世界女子選手権大会に参加し女子日本代表チームは準優勝した。
- 7) 第 18 回アジア競技大会への派遣
平成 30 年 8 月 16 日～25 日までインドネシア・ジャカルタに女子日本代表チーム（選手 17 名、スタッフ 8 名）を派遣。7 カ国・地域の参加を得て開催された第 18 回アジア競技大会に参加し女子日本代表チームは優勝した。
- 8) カナダカップショーケースゴールドトーナメント大会への派遣
平成 30 年 7 月 12 日～24 日までカナダ・サレーに GEM2 女子日本代表チーム（選手 17 名、スタッフ 5 名）を派遣。18 チームの参加を得て開催されたカナダカップショーケースゴールドトーナメント大会に参加し GEM2 女子日本代表チームは優勝した。

9) 第7回アジア女子ジュニア選手権大会への派遣

平成30年5月9日～19日までフィリピン・アンヘレスにGEM3女子日本代表チーム(選手17名、スタッフ9名)を派遣。8カ国の参加を得て開催された第7回アジア女子ジュニア選手権大会に参加しGEM3女子日本代表チームは優勝した。

10) 第7回東アジアカップ大会への派遣

平成30年6月10日～16日まで台湾・台北市にGEM4女子日本代表チーム(選手17名、スタッフ6名)を派遣。5カ国の参加を得て開催された第7回東アジアカップ大会に参加しGEM4女子日本代表チームは優勝した。

11) 第2回アジア大学選手権大会への派遣

平成30年10月21日～27日まで中国・南京市に大学女子選抜チーム(選手17名、スタッフ5名)を派遣。8カ国の参加を得て開催された第2回アジア大学選手権大会に参加し大学女子選抜チームは第3位となった。

12) 第10回アジア男子選手権大会への派遣

平成30年4月21日～29日までインドネシア・ジャカルタに男子日本代表チーム(選手17名、スタッフ7名)を派遣。9カ国の参加を得て開催された第10回アジア男子選手権大会に参加し日本代表チームは優勝した。

13) 第1回インターコンチネンタルカップ大会への派遣

平成30年8月25日～9月3日までチェコ・プラハに男子日本代表チーム(選手17名、スタッフ5名)を派遣。6カ国の参加を得て開催された第1回インターコンチネンタルカップ大会に参加し日本代表チームは準優勝した。

14) TAB チャレンジカップ大会への派遣

平成31年2月8日～10日までニュージーランド・オークランドに男子日本代表チーム(選手17名、スタッフ5名)を派遣。3カ国4チームの参加を得て開催されたTABチャレンジカップ大会に参加し日本代表チームは優勝した。

15) 第12回世界男子ジュニア選手権大会への派遣

平成30年7月3日～17日までカナダ・プリンスアルバートにU19男子日本代表チーム(選手17名、スタッフ7名)を派遣。13カ国の参加を得て開催された第12回世界男子ジュニア選手権大会に参加しU19男子日本代表チームは準優勝した。

<ソフトボールに関する競技規則の制定>

- 1) ルール委員会を1回開催し、平成31年度のオフィシャル・ソフトボール・ルールの制定作業を行った。

<ソフトボール競技公認審判員、公式記録員及び指導者の認定ならびに養成>

- 1) 公認審判員認定会

平成30年度における認定は第1種194名、第2種341名、第3種2,948名が認定された。

- 2) 公式記録員認定会

平成30年度における認定は第1種66名、第2種98名、第3種1,317名が認定された。

- 3) 準指導員養成講習会

平成30年度における認定は897名が認定された。

- 4) 公認コーチ養成講習会

平成30年12月14日～18日、東京都において実施し、46名が受講した。

- 5) 指導者中央研修会の実施

平成31年2月9日～10日東京都にて全国の各都道府県ソフトボール協会の中核となる指導者委員長ならびにソフトボール指導員を対象に、指導者の資質の向上と指導者相互の連帯感を深め、より良い指導体制の確立を図るため実施した。

- 6) 学校体育ベースボール型地域授業研究会の実施

全国18会場でベースボール型授業の指導法について、小・中学校の教員を対象に必要な知識や技能の習得を図るため実施した。

<機関誌及び刊行物の発行>

- 1) 平成30年度の刊行物

- ・ オフィシャル・ソフトボール・ルールブック（2018年度版）
- ・ 競技者必携（2018年度版）
- ・ オフィシャル・ソフトボール・ルールケースブック
- ・ 指導教本
- ・ スコアリングマニュアル
- ・ アンチドーピングマニュアル
- ・ 学校体育ソフトボールガイドブック
- ・ 熱中症予防パンフレット
- ・ 指導者向け体罰等ハラスメント防止リーフレット

<アンチ・ドーピングの普及>

- 1) アンチ・ドーピングマニュアルを作成・配布し、またドーピング防止に関する研修会も実施した。ドーピング検査については7競技会で検査を実施(69検体)した。

収益目的事業

<ソフトボール用品・用具の検定>

1) 用具検定会の実施

平成30年度における用具検定会は平成30年5月31日、11月30日の2回実施し、用具用品メーカーより用具検定料を徴収した。

2) 商標提供

用具用品メーカーと当法人が保有する商標等の使用許諾に関する覚書を取り交わした。

<機関誌及び刊行物の発行>

- 1) 会報(JSAソフトボール機関誌)を年11回発行した。

- 2) 当法人が発行する刊行物に掲載する企業広告に対し広告料を徴収した。

<その他この法人の目的を達成するために必要な事業>

1) トスコイン・バットリング・会員バッジの販売

トスコイン、バットリング及び当法人会員バッジを販売した。

その他法人会計事業

<その他この法人の目的を達成するために必要な事業>

- 1) 公益財団法人日本スポーツ協会及び公益財団法人日本オリンピック委員会、世界野球ソフトボール連盟、アジアソフトボール連盟に対し、ソフトボール界を代表して加盟した。

- 2) 理事会等、当法人の運営に必要とされる諸会議を実施した。

- 3) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業を実施した。